

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	よっちゃんち		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動体験ができる。	小学生、中高生、発達に合わせた活動提供を行っている。 領域別活動の他にも季節の行事など、楽しめるよう活動設定を行っている。	子どもたちの意見を取り入れながら、活動設定を行う。
2	事業所内研修や外部研修などに積極的に参加している。	事業所内、法人内研修の他にも、月一回の職員会議内で安全計画に基づく訓練や、虐待防止研修、年4回の避難訓練を行い、臨機応変な対応を各職員が取れるようにしている。	職員一人一人が意識してスキルアップできるよう、学ぶ機会を設け、参加を働きかける。
3	LINEを使った活動報告を行っている。	連絡ノートだけでなく、写真を載せ、さらに活動の状況がわかりやすくなるよう送っている。	写真を撮っても送信を忘れてしまう時もあるので気を付ける。「オープンな事業所」を心がける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が不十分である。	放課後学校や町の児童クラブとの交流も検討しているが、町に問い合わせる必要があり、計画、実行できていない。	町の福祉課、子ども未来課、教育委員会等に交流について問い合わせをする。
2	保護者同士、きょうだい児の交流が少ない。	親子行事を計画しているが、交流となると足りなさを感じている。	きょうだいの気軽に参加できるようなイベントの計画を行う。
3	送迎や時差出勤のため、情報共有が不十分なことがある。	一人一人が意識して発信できていない。児発管のトップダウン型になりがちである。	職員一人一人が仕事に責任を持って携わるよう意識する。少しでも疑問を持って、発信することを恐れずに仕事に臨む職員集団をつくる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 よっちゃんち

公表日 2026年4月1日

利用児童数 2026年3月2日現在 21名

回収数 14家庭

	チェック項目	はい				どちらともいえない				いいえ				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない						
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	0	0					狭いように感じる。	部屋の仕切りが多い構造なので、グループ活動など、子どもたちがのびのび活動できるような活動プログラムを設定しております。				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	1										
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	1					適切にされていると思うが、トイレやホールダンススペースなど表示が大きくあっても良いと思う。	アドバイスありがとうございます。通いにくい部分でした。新しいお子さんがわかりやすい環境設定を行いたいと思います。				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	0										
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	0					わからない	面談時にお子さんについてのアセスメントを行い、それに基づいて支援を行っています。事業所内での対応について悩んだ際は、外部（地域支援マネージャー）への相談なども行っております。				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0										
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1	0	0					わからない	アセスメントシート、利用計画書、ご本人、ご家族の意向を組み入れた個別支援計画を作成、承諾いただいて支援をしております。				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0										
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0										
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	0					色々なことをしてもらっている。	曜日固定でも、活動内容を毎週変えて提供しております。				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	4	2	4					お便りでは見ているが、交流するところを見ないのかわからない。	恒活動を通しての交流となっており、不十分さは感じております。児童クラブとの交流についてや、町の放課後学校との交流を次年度検討できればと、互理町役場に相談する予定です。				
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0										
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0										
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	0	2					行われていると思うが、参加したことがない。お便りにも写真など載せてほしい。	情報提供などは、お便りやSNSを使い発信していきます。ペアトレに関しては、今後検討中です。				
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	1					一部の職員と子どもの状態について理解の相違があったが、全体的には問題ない。	職員間での情報共有が足りない部分があったのかと思います。一人ひとり、支援者としての責任を強く持ち職務に向き合うよう指導いたします。				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	1					送迎につきそっていないためわからない。	年に2回の面談を行っておりますが、他にも時間を設けて相談に応じることが出来ます。いつでもご連絡ください。				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	1					子どもへの働きかけに対して、思いもよらない言葉を受け、残念であった。	保護者様に対して不安な思いをさせたこと、申し訳ありませんでした。職員の個人的な意見を出すのではなく、職員間、保護者様との支援の方向性について共通の思いを持って関わられるよう、指導いたしました。				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1	0	2					きょうだいの支援がしているのかわからない。	行事ではきょうだいも参加されることはありますが、きょうだい向けイベントは開催しておりません。今後検討してまいります。				
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	2					相談をしていないのかわからない。	相談があれば、いつでも対応できるようにしております。					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	0	LINEなどで発信があり、いつもと違う子どもの様子を知れてうれしい。	なかなかホームページ更新が進みませんが、出来るだけ活動内容をお知らせできるよう発信してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	0	0	訓練は行われていると思うが、参加しているかわからない。	年4回、土曜日も含めて避難訓練を行っています。その他、安全計画を策定し、災害時の対応訓練等も職員間で行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	1	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	1	0	楽しんでいっている	子どもも、大人も楽しい事業所づくりを心がけます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	満足している	ありがとうございます。引き続き、保護者の皆様が安心して通所させることのできる事業所づくりを心がけます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		よっちゃんち				公表日	2026年 3 月 15 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	構造上死角が多く、完璧に配慮できているかと言われると、「はい」とは言えないと感じている。	活動前のミーティングを行い、その中で死角になる部分の確認や、スタッフ配置等動きの確認を行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者会が開催されているが、全体で集まれているのではないかと感じている。	保護者会事前通知を早めに行い、参加を促す。評価表を年に1回収取は行っている。また、モニタリング等の面談時に意向等把握しているが、全職員に状況を伝えられていなかったので周知する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0			

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	職員の退勤時間等の兼ね合いでなかなか共有できないこともある。翌朝などに振り返りができるようにしたい。	送迎や延長支援の利用者様の対応、時間差出勤なども影響しているので、翌日のミーティングで意識して振り返りを全職員が意識できるよう指導する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	子どもたちだけでなく、職員間でも研修会などで関われる機会があるとよい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	情報提供は行っているが、ペアレントトレーニングを行う機会はない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	きょうだい同士の交流の場は機会があればと感じる。	親子イベントなどで積極的に家族の参加を呼びかけ、その中できょうだいの関りが出来るとよい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	地域の人との交流がもっとできたらよい。	事業所のおまつりを地域の人に周知し、事業所を知ってもらおう。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	魚卵アレルギーの利用者様がいるが、提供することがないので指示書は頂いていない。	今後対応が必要な際は、十分に注意し対応する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		